

運営費交付金債務及び当期振替額等の明細

(1) 運営費交付金債務の増減の明細

(単位:円)

交付年度	期首残高	交付金当額	当期振替額					期末残高
			運営費交付金	資産見返交付金	建設仮勘定見返交付金	資本剰余金	小計	
平成23年度	49,236,060	0	0	0	582,120	0	582,120	48,653,940
平成24年度	73,764,839	0	0	0	0	0	0	73,764,839
平成25年度	104,603,904	0	0	0	0	0	0	104,603,904
平成26年度	0	962,923,000	825,503,397	13,400,330	993,600	0	839,897,327	123,025,673
合計	227,604,803	962,923,000	825,503,397	13,400,330	1,575,720	0	840,479,447	350,048,356

(2) 運営費交付金債務の当期振替額の明細

①平成23年度交付分

(単位:円)

区分		金額	内訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	0	—(業務達成基準を採用した業務は無い)
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	0	—(期間進行基準を採用した業務は無い)
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	0	①全ての業務において費用進行基準を採用している。 ②当該業務にかかる損益等 固定資産の取得額:582,120円(研修事業用資産:582,120円) ③運営費交付金の振替額の積算根拠 建設仮勘定見返運営費交付金:固定資産の取得額:582,120円
	資産見返運営費交付金	0	
	建設仮勘定見返運営費交付金	582,120	
	資本剰余金	0	
計	0		
合計		582,120	

②平成24年度交付分

(単位:円)

区分		金額	内訳
業務達成基準による振替額	運営費交付金収益	0	—(業務達成基準を採用した業務は無い)
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
期間進行基準による振替額	運営費交付金収益	0	—(期間進行基準を採用した業務は無い)
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
費用進行基準による振替額	運営費交付金収益	0	—(当期における振替額は無い)
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
合計		0	

③平成25年度交付分

(単位:円)

区 分		金 額	内 訳
業務達成基準 による振替額	運営費交付金収益	0	－(業務達成基準を採用した業務は無い)
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
期間進行基準 による振替額	運営費交付金収益	0	－(期間進行基準を採用した業務は無い)
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
費用進行基準 による振替額	運営費交付金収益	0	－(当期における振替額は無い)
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
合 計		0	

③平成26年度交付分

(単位:円)

区 分		金 額	内 訳
業務達成基準 による振替額	運営費交付金収益	0	－(業務達成基準を採用した業務は無い)
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
期間進行基準 による振替額	運営費交付金収益	0	－(期間進行基準を採用した業務は無い)
	資産見返運営費交付金	0	
	資本剰余金	0	
	計	0	
費用進行基準 による振替額	運営費交付金収益	825,503,397	①全ての業務において、費用進行基準を採用している。 ②当該業務に係る損益等 ア) 損益計算書に計上した費用の額及びリース料:984,417,273円 (役員人件費:397,487,892円、研修支援管理費:152,659,960円、 研修事業費:423,193,647円、雑損:1,934,474円、リース料:9,141,300円) イ) 自己収入に係る収益等計上額:158,913,876円 (宿泊料収入:146,356,790円、建物貸付料収入:4,635,797円、雑収入:7,921,289円) ウ) 固定資産の取得額:14,393,930円 (研修支援管理用資産:4,379,869円、研修事業用資産:10,014,061円) ③運営費交付金の振替額の積算根拠 運営費交付金収益:825,503,397円(費用984,417,273円－自己収入158,913,876円) 資産見返運営費交付金:固定資産の取得額13,400,330円 建設仮勘定見返運営費交付金:固定資産の取得額 :993,600円
	資産見返運営費交付金	13,400,330	
	建設仮勘定見返運営費 交付金	993,600	
	資本剰余金	0	
	計	839,897,327	
合 計		839,897,327	

## (3) 運営費交付金債務残高の明細

(単位:円)

交付年度	運営費交付金債務残高		残高の発生理由及び収益化等の計画
平成23年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	0	－(業務達成基準を採用した業務は無い)
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0	－(期間進行基準を採用した業務は無い)
	費用進行基準を採用した業務に係る分	48,653,940	○全ての業務において、費用進行基準を採用している。 ○運営費交付金債務残高の発生理由は、人件費の抑制による減。 (注:運営費交付金の収益化については、自己収入を優先的に充てることとしている。) ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、中期計画期間中に施設・設備等に充当のうえ収益化する予定である。
	計	48,653,940	
平成24年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	0	－(業務達成基準を採用した業務は無い)
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0	－(期間進行基準を採用した業務は無い)
	費用進行基準を採用した業務に係る分	73,764,839	○全ての業務において、費用進行基準を採用している。 ○運営費交付金債務残高の発生理由は、業務運営の効率化による経費の減。 (注:運営費交付金の収益化については、自己収入を優先的に充てることとしている。) ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、中期計画期間中に施設・設備等に充当のうえ収益化する予定である。
	計	73,764,839	
平成25年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	0	－(業務達成基準を採用した業務は無い)
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0	－(期間進行基準を採用した業務は無い)
	費用進行基準を採用した業務に係る分	104,603,904	○全ての業務において、費用進行基準を採用している。 ○運営費交付金債務残高の発生理由は、業務運営の効率化による経費の減。 (注:運営費交付金の収益化については、自己収入を優先的に充てることとしている。) ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、中期計画期間中に施設・設備等に充当のうえ収益化する予定である。
	計	104,603,904	
平成26年度	業務達成基準を採用した業務に係る分	0	－(業務達成基準を採用した業務は無い)
	期間進行基準を採用した業務に係る分	0	－(期間進行基準を採用した業務は無い)
	費用進行基準を採用した業務に係る分	123,025,673	○全ての業務において、費用進行基準を採用している。 ○運営費交付金債務残高の発生理由は、業務運営の効率化による経費の減。 (注:運営費交付金の収益化については、自己収入を優先的に充てることとしている。) ○翌事業年度に繰り越した運営費交付金債務残高については、中期計画期間中に施設・設備等に充当のうえ収益化する予定である。
	計	123,025,673	